

経営比較分析表（令和5年度決算）

滋賀県 甲良町

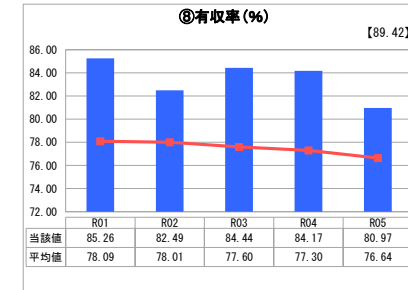
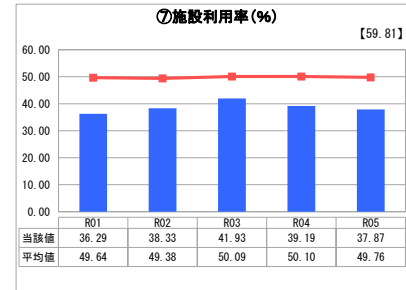
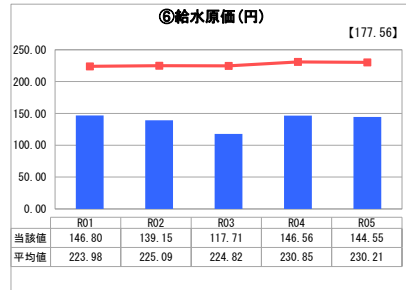
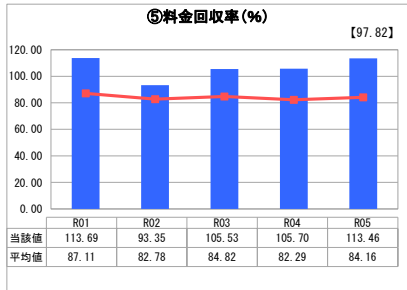
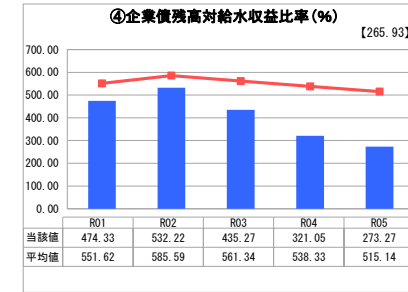
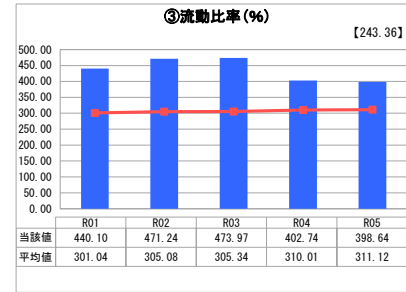
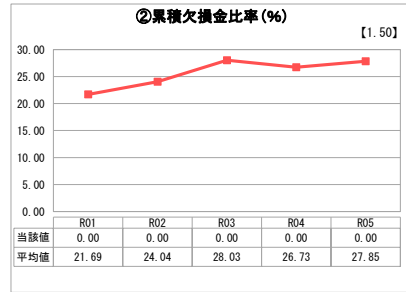
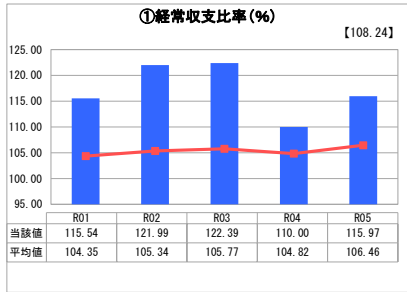
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	81.06	100.00	3,300	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,511	13.63	477.70
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
6,476	13.62	475.48

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

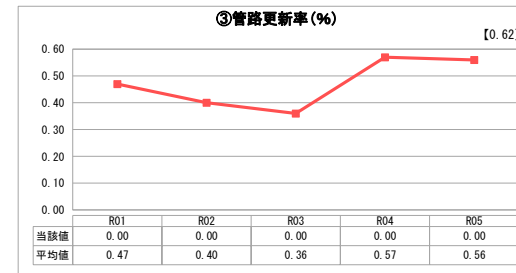
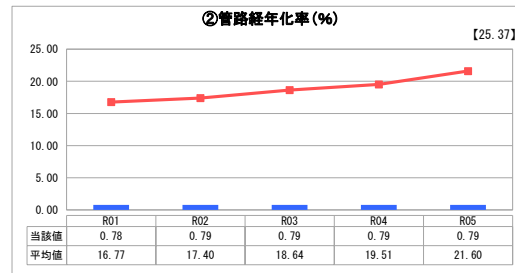
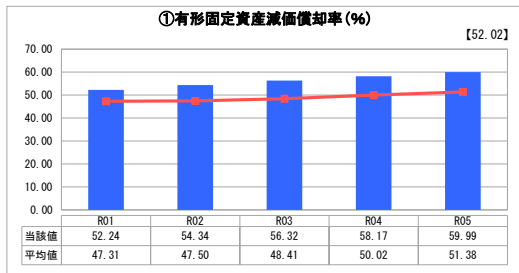
1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率や流動比率などの指数については、全国平均を上回っており、概ね健全である。しかしながら施設利用率については、類似団体や全国平均より下回っていることが恒常化しているため、広域化・共同化の一環として、近隣への用水供給を踏まえた検討により、施設利用率の向上に務める必要があると考えられている。また、有収率向上についても全国平均を下回っており、管路維持の観点からも漏水調査による修繕を継続的に図る必要がある。

2. 老朽化の状況について

本町水道事業において、配水管（本管・枝管）及び給水管は、公共下水道の整備に併せて布設替工を実施したことから現時点では、老朽化は進んでいないが、今後耐用年数を越える管が出てくることから、更新（耐震管等）を計画的に行う必要がある。

2. 老朽化の状況



全体総括

現状本町水道事業の運営については安定しているように見えるが、今後の人口減少による給水収益の低下や光熱水費の高騰、管路の老朽化による更新費用の確保を考えると、営業利益の確保を行い将来投資のための資金を蓄えるとともに経営上の合理化（広域化等）を検討する必要がある。